

食肉衛生検査情報 2 豚々

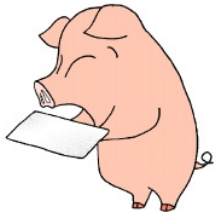
〈今月の特集〉 と畜検査還元データの活用について



食肉衛生検査所では、皆様の農場の衛生管理向上に活用していただくことを目的として、と畜検査データの還元を行っています。月刊 養豚界 2024年6月号には「もっと活用したい！と畜検査データ」と題した特集記事が組まれ、管理獣医師、家畜保健衛生所の先生方の解説、活用事例等が掲載されました。今月号のTonTonでは、と畜検査データを効果的に活用していただくため、“ベンチマーキング”と“データのグラフ化”について紹介します。

ベンチマーキングについて

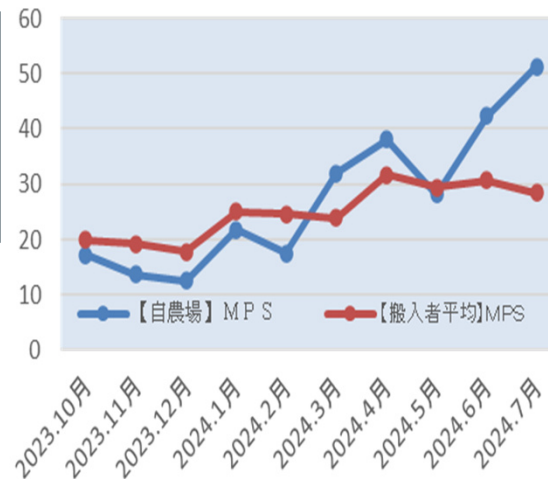
養豚業界でも、他の農場の平均的な成績や優秀な農場の成績、自農場の過去の成績等を比較の指標として、自農場の現在の状況を推測、成績改善への足掛かりとする“ベンチマーキング”と呼ばれる手法が活用されています。ベンチマーキングの手法は、と畜検査データの評価にも効果的です。長崎県の還元データには、と畜場搬入者全体の平均値を記載していますので、一つのベンチマークとしてご利用ください。



データのグラフ化について

データの活用にはグラフ化することが効果的です。毎月のデータをグラフ化することで疾病罹患率の推移を把握しやすくなり、さらにベンチマーキングの手法を取り入れて、と畜場搬入者の平均値と月別に比較することで、自農場の現在の状況の分析、評価を行うことができます。

右のグラフは、自農場と、と畜場搬入者の平均の月別MPS罹患率をグラフ化したものです。
※データには、と畜検査還元データの疾病罹患率を利用し表計算ソフトExcelを用いてグラフ化しました。



ベンチマーキング手法と グラフ化の効果

疾病率の増減が自農場固有の増減か？
他の農場も含めた養豚業界の傾向か？
を確認することができます。

疾病対策の必要性や実施した疾病対策
の効果の検証等にも活用できます。

毎月の還元データは電子データ（Excel形式）での送付も可能です、電子データを利用するとデータの入力や管理が容易になります。ご要望等ありましたら、搬入されていると畜場を管轄している食肉衛生検査所へご相談ください。